

# 英語科学習指導案

日 時 平成29年11月15日(水) 5校時  
 学 級 3年A組 (男13名 女13名 計26名)  
 場 所 English Room  
 授業者 教諭 桐越 綾  
 ALT ミカ・ワレニウス

## 1 単元名

PROGRAM 9 Education First: Malala's Story  
 (開隆堂「SUNSHINE ENGLISH COURSE 3」 p84～p89)

## 2 単元について

### (1) 目 標

#### 【読むこと】

- ・繰り返して読んだり、読み返したりして、読んだことについてメモをとったり簡単な言葉などでまとめることができる。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。(外国語理解の能力)

#### 【話すこと】

- ・グループで協力して、Retelling Relay をする。(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・グループで協力して、伝えたい内容構成を踏まえた再構築ができる。(外国語表現の能力)

### (2) 生徒の実態

男女ともに仲が良く、ペア活動やグループ活動に協力して取り組み、学び合いながら前向きに学習に取り組める学級である。

【平成29年7月・10月に実施した学習に関するアンケートの結果】

英語が好き	7月	好き 8				
	10月	好き 11				
授業が楽しい	7月	楽しい 15	やや楽しい 8	1		
	10月	楽しい 18	やや楽しい 5	1	1	
授業がわかる	7月	わかる 10	ややわかる 11	3		
	10月	わかる 16	ややわかる 8		1	
英語ができる	7月	できる 11	ややできる 9	3		
	10月	できる 8	ややできる 15		1	1

\* 白色…あまり○○ない 濃い灰色…まったく○○ない【単位：人】

自由記述の感想から「グループで活動したりするから、よくわかる」、「クラス交流などあって楽しく授業できる」とあり、学習形態の工夫が大切であり、生徒の学習意欲を増すのではないかと考えられる。

また、課題に真面目に熱心に取り組むが、間違いを恐れる傾向が強く、人前で発表する力が弱い。「スピーキングテストをやると力がつくので続けてほしいです」、「いろいろな授業の仕方があって楽しい」という感想から、言語使用場面を多く設定し、実生活で使用できるよう授業の中で練習を重ねることで、英語学習における達成感が育まれるのではないかと考える。

## 【平成28年度県学調の結果】

領域・観点	県比
聞くこと	103.4
読むこと	100.2
書くこと	121.0
理解の能力	101.4
表現の能力	152.0
言語・文化の知識・理解	112.1

本学級の生徒の2年次の調査結果を見ると、本単元に関わる能力の「読むこと」「理解の能力」に課題が見られる。英文を読んで内容を理解することに苦手意識をもっているため、楽しみながら行うことのできる表現活動を取り入れながら、理解力の向上を高めるよう工夫していきたい。

### (3) 教材観

本単元では、社会的な話題に関する説明文を読んで、イラストや写真を参考にしながら要点を把握し、その内容に対する自分の考えを述べることをねらいとしている。

題材は、ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイの国連での感動的なスピーチの最後の一文、“One child, one teacher, one book, and one pen can change the world.”を軸に、マララさんの生き方、考え方を紹介している。本単元では、セクション毎に時間軸に沿った構成ではないため、各セクションのタイトル作成とマッピングを行うことで、要点を把握させたい。そのうえで、自らの言葉で内容の再構築 (retelling) を行うことにより、十分な内容理解に努め、自分の考えをもたせる一助とさせたい。

本単元では、内容の再構築 (retelling) を行うことで、4技能の総合的な指導ができると考える。3年間でインプットした言語材料をアウトプットする体験を通して、言語使用への抵抗を減らしたい。また、世界の子どもたちの教育の現状、教育の重要性、男女平等、自他の敬愛の大切さを学ぶことのできる題材なので、道徳や社会などの他教科の学習とも連携し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を育てたい。

### (4) 指導観

これまで、PROGRAM 4 では、時間軸に沿って物語を読み、読み取った内容をグループ内で Retelling Relay を行った。PROGRAM 5 では、会話文の内容をマッピングでまとめ、それをもとに説明する活動を行った。読んで内容を理解するだけにとどめず、自分の言葉で伝えることや、自分の考えを英語で伝える活動を続けてきた。また、Warm-up として、ペア活動による新出語句のインプット・アウトプットや Mystery Word 活動により、英語を使用する抵抗感を減らす工夫をしてきた。

本校の CAN-DO では、「読むこと」の中学3年生の学年末の目標を、「読み取った内容について自分の考えを持ち、表現することができる」と設定している。本単元は、4つのトピックスからマララさんの生き方について考えさせる構成となっている。そこで、この目標に向けて、これまでの Reading 教材を使って学習してきたことを活用し、写真や絵からの情報とマッピングで整理した情報を基に、グループで「自分たちが伝えたいマララさん」が伝わる文章構成を考え、自分の考えを入れながら話を伝えることをねらいとする。

### (5) 指導と評価の計画

時間	学習活動	留意点	評価の方法と規準	備考
1 見通す	○オリエンテーション ・PROGRESS SHEETを用い単元の活動までの流れを確認する。 ・ブレインストーミングを用い、ノーベル平和賞、マララさんについて知っていることを確認する。 ・ノーベル平和賞受賞時のスピーチを見て、メモをとり、概要を把握する。	マララさんについて知り、単元活動までの流れをイメージする。	メモをとり、相手の話に関心を持って聞いている。 (関・意・態) まとまりのある英語を聞いて、全体の概要や内容の要点を適切に聞き取ることができる。 (理解)	PROGRESS SHEET ワークシート 振り返り
2	○教科書本文 (Section 1) を読み、自分の言葉でまとめる。 ・教科書本文を通して、国連でスピーチするきっかけとその経緯について理解する。 ・理解した内容をまとめる。 ・タイトルをつける。	マッピングをしながら内容の概要把握に努め、タイトルをつけることで大切な部分の理解を促す。	繰り返して読んだり読み返したりして、読んだ内容についてメモを取りまとめる。 (関・意・態) あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 (理解)	ワークシート 発言 振り返り
3	○教科書本文 (Section 2) を読み、自分の言葉でまとめる。 ・教科書本文を通して、マララが日記を書き始めた経緯とその当時の状況について理解する。 ・理解した内容をまとめる。 ・タイトルをつける。	マッピングをしながら内容の概要把握に努め、タイトルをつけることで大切な部分の理解を促す。	繰り返して読んだり読み返したりして、読んだ内容についてメモを取りまとめる。 (関・意・態) あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 (理解)	ワークシート 発言 振り返り
4	○教科書本文 (Section 3) を読み、自分の言葉でまとめる。 ・教科書本文を通して、マララの将来の夢について理解する。 ・理解した内容をまとめる。 ・タイトルをつける。	マッピングをしながら内容の概要把握に努め、タイトルをつけることで大切な部分の理解を促す。	繰り返して読んだり読み返したりして、読んだ内容についてメモを取りまとめる。 (関・意・態) あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 (理解)	ワークシート 発言 振り返り
5	○教科書本文 (Section 4) を読み、自分の言葉でまとめる。 ・教科書本文を通して、国連演説でマララさんが一番伝えたかったことについて理解する。 ・理解した内容をまとめる。 ・タイトルをつける。	マッピングをしながら内容の概要把握に努め、タイトルをつけることで大切な部分の理解を促す。	繰り返して読んだり読み返したりして、読んだ内容についてメモを取りまとめる。 (関・意・態) あらすじや大切な部分などを読み取ることができる。 (理解)	ワークシート 発言 振り返り

6	<p>○マララさんへの質問と伝えたい内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国連演説を見てメモを取る。</li> <li>・マララさんへの質問を考える。</li> <li>・「自分たちが伝えたいマララさん」について考える。</li> </ul>	<p>今まで学習した内容を踏まえて、意見をや質問を考えることで、題材への深い関心を高めるきっかけを促す。</p>	<p>メモをとり、相手の話に関心を持って聞いている。</p> <p>(関・意・態)</p> <p>文化的背景について理解し、場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。</p> <p>(表現)</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>
7	<p>○Story Retellingを練習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよいretellingになるように、グループで構成を考える。</li> <li>・メモをもとに、構成に沿ったRetellingとなるように練習する。</li> </ul>	<p>理解した内容をもとに構成を考え、聞き手が理解しやすくなるように工夫し、文章を再構築する。</p>	<p>聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。</p> <p>(関・意・態)</p> <p>場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。</p> <p>(表現)</p>	<p>観察</p> <p>振り返り</p>
8	<p>○マララさんへの手紙を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの授業内容を総合し、マララさんに宛てた手紙を書く。</li> </ul>	<p>単元のまとめの活動</p>	<p>間違ふことを恐れず積極的に書いている。</p> <p>(関・意・態)</p> <p>感想や質問を加えて書くことができる。</p> <p>(表現)</p>	<p>観察</p> <p>ワークシート</p> <p>振り返り</p>

#### 4 本時について

##### (1) 目標

グループで協力して、伝えたい内容構成を踏まえた再構築ができる。

##### (2) 評価規準

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。

(外国語表現の能力)

場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。

##### (3) 指導の構想

セクション毎にまとめたタイトルとマッピングをもとに、グループ毎に伝え方の工夫を考えさせる。その際に PROGRAM 4 で行った時間軸を活用する構成や PROGRAM 5 で扱った説明的文章の構成を思い出し、自分たちが伝えたいことを整理して聞き手に伝えるためには、どの方法を使ったらよりよく伝わるのかを考えさせたい。

**(4) 展 開**

過程	学習活動	指導上の留意点	評価の方法と規準
見 通 す  10 分	1 あいさつ	○英語を話す雰囲気をつくる。	
	2 Warm-up【ペア】 Mystery word	○単元で使用されている語を題材にする。	
	3 タイトルの確認	○グループごとのタイトルを確認する。	
	学習課題 グループで協力して、伝えたい内容構成を踏まえたRetellingを練習しよう		
学 習 活 動   35 分	4 再構築の工夫の確認【全体】	○JETとALTのモデルを聞き、違いに気づかせ、時間軸を活用する方法と説明的文章の構成について確認する。	聞き手が理解しやすくなるように工夫して話している。 (活動の観察)  場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。 (活動の観察)
	5 練習①【個人→グループ】	○話し合い活動が進むよう、机間巡視をしてアドバイスする。	
	6 グループ間交流【グループ】		
	7 練習②【グループ】	○他グループからのアドバイスをもとに練習する。	
	8 代表グループの発表	○代表グループに発表させ、工夫を確認し共有する。	
振 り 返 る  5 分	9 本時の振り返り	○PROGRESS SHEETに記入しながら、本時の学習を振り返らせる。	
	10 あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初はどの順番で話せばいいか悩んだが、グループでの話し合いの中で、どの順番で話せば内容が伝わるかがわかり、話すことができた。</li> <li>・同じ人についての話なのに、話す内容の順番をかえることで、伝わり方が違うということに驚いた。</li> </ul>	

**(5) 板書計画**

MENU

Today's Goal

Title


電子黒板